# 志村坂下小だより

６月号　令和５年５月 31 日
http://www.ita.jp/edu/sakaes/　　東京都板橋区立志村坂下小学校
「FLC学びのエリア」（fight・learn・clean）「志四中」「坂下小」「緑小」「志村小」「北前野小」　　校長　松野　薫子
目指す児童・生徒像＝「よく考え進んで学ぶ子ども」「心豊かで思いやりのある子ども」「ねばり強くたくましい子ども」

## お互いを理解しようという気持ち

校 長　松 野　薫 子

「坂スポ 2023」にご来場いただき、ありがとうございました。気温が高く、強い日差しの下ではありましたが、皆さまからの大きな声援を受け、子供たちは大きな力を発揮できたと思います。教室に戻る子供たちの顔は実に晴れやかでした。

私は教室に掲示してある子供たちの作品を見るのが好きなのですが、先日はさつまいもの苗を見てかいたカードをみました。子供たちは皆同じようなものを見て観察カードを書いたはずですが、その着目点は実に多彩です。葉や茎の色・形・長さはもちろんのこと、「あまずっぱい」「はちみつみたい」などの匂い、「冷たい」「ざらざらしている」などの感触。なかには、「大きなさつまいもをお料理しておいしく食べたい」というようなものもありました。きっと収穫を想像してのことでしょう。また、別の教室には、身近にある自然を取り上げてかいたカードに、「つつじは大人っぽいにおいがしました」とありました。どんな匂いだろう、考えずにはいられない表現です。でも私にはわからなくても、記した子供にとってははっきりと感じた「気づき」があったのだろうと思います。どの表現も素敵です。

遡って、４月の６年生の教室前廊下には、進級したての想いを短歌で表現したものが掲示してありました。進級の喜び、頑張りたい気持ち、行事への期待、そして、最高学年になった不安。同じものを見ても、同じことをしても、注目することや感じ方は人それぞれです。

本校では、授業の中で学び合いの時間があります。時には自分の考えを電子黒板などに拡大して写し、学級全体に説明することもあります。自分の中ではわかっていても、いざ全体の前で説明となると気後れしてしまい、うまく説明できないこともあります。でも、子供たちはその説明を遮ることなく、最後まで聞いています。きっと「理解しよう」としているのだと思います。なんて温かい関係でしょう。

学校という集団生活の場での人とのかかわりは、そのお互いを「理解しよう」という気持ちがとても大切で、それがあるから、多様な考えも感じ方も安心して表現できるのだと思います。一人一人の感性を認め合うことを学校でもご家庭でも大切にしていってほしいと思います。

＜志村坂下小コミュニティ・スクール委員会　委員の皆様のご紹介＞

今年度のコミュニティ・スクール委員会
委員の皆様をご紹介いたします。

髙橋　友人　様（蓮根南町会会長）
堀田　薫　　様（坂下一丁目南町会会長）
栗原　修　　様（坂下一丁目南町会副会長）
井上菜穂子　様（学校支援地域本部コーディネーター）
西田　佳子　様（学校支援地域本部コーディネーター）
藤原真理子　様（相生保育園長）
渡邉　正知　様（本校学校開放協力会長）
川口　徹　　様（本校元 PTA 会長）
永田　大祐　様（本校 PTA 会長）
小野崎果苗　様（本校 PTA 副会長）

５月１５日(月)に第一回のコミュニティ・スクール委員会を開催いたしました。
次回は７月２４日（月）に開催し、教員との熟議を予定しています。
委員の皆様方におかれましては、本校の子供たちのために、考え、活動していただき、大変感謝しております。今年度もよろしくお願いいたします。

○欠席連絡のフォームは今年度のものをお使いください。昨年度までのものは送信できても、学校側で受信できません。右のＱＲコードを読み込んでください。

○大変遅くなりましたが、昨年度の学校アンケートの結果をホームページにアップしました。トップページからご覧になれます。